

II 川越親愛センター(令和3年度事業報告)

1. 令和3年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、積極的に障害施策の情報収集を行い、基準を満たす加算申請を行い安定した収入を目指す。利用者の生活の充実を図り、地域における福祉施設としての役割を果たす。

また、新型コロナウイルス感染症が未だ収束の兆しが見えない中、職員、利用者の感染予防対策を徹底し、事業の継続性の確保するとともに、利用者の余暇活動等のメニューを工夫し、利用者支援の充実を図る。

人材育成については、利用者の人権を尊重できる倫理観の高い職員の育成を図り、利用者、家族、地域から信頼が得られる安全で安心な質の高いサービスを提供する。

昨年度から引き続き法人中長期計画にもとづき、川越親愛センターの施設整備検討委員会を開催し準備を進めていく。

- (1) 施設入所支援 主に夜間帯の日常生活全般の支援を行う。
- (2) 生活介護事業 軽作業や日中活動等のサービスを提供する。
- (3) 短期入所事業・日中一時支援事業 在宅の利用者を対象に地域における福祉施設としての役割を十分認識し家族が安心してサービスを受けられるようサービスの質の向上を目指す。
- (4) あんしんネット親愛 生活困窮者への迅速な支援を実施し、自立に繋げる。

2. 令和3年度取り組み

(1)利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 個別支援計画に基づく支援 (ア) 一人ひとりの思いや価値観を大切に、個人や少数単位での支援を行う。 (イ) 意思を尊重した意思決定ができていないか、会議で確認する。 (ウ) 記録システムの見直し導入に向けて検討する。	(ア) 個別支援計画に基づき、小グループでの支援を心掛けた。 (イ) 会議や定期的な振り返りを通じて、利用者の意思を尊重できているか確認を行った。 (ウ) 施設内で担当者を選任し、10月より新しい記録システムの導入を行い、職員間での情報共有が、円滑になった。

<p>イ 軽作業・余暇支援の提供</p> <p>(ア) 感染防止対策を継続し、軽作業や余暇支援の再編成を行い、精神面を含んだ健康の増進に努める</p> <p>(イ) 作業班や余暇支援等で作り上げた作品の発表の場を設ける。</p>	<p>(ア) 今年度も感染対策のため、入所部と通所部に分かれて活動を行った。日中活動の内容は、個々のニーズに合わせ、リサイクルを中心とした軽作業と、余暇支援を組み合わせた提供を行った。</p> <p>また、施設内の行事では、創作作品の発表や展示、移動販売等を企画し楽しむことができた。</p> <p>(イ) 9月の施設内行事で余暇作品の展示や発表の機会を設けた。感染防止のため、今年度も支援説明会は2回の実施となったため、広報誌を作成しご家族に郵送する取り組みを継続した。</p>
<p>ウ 高齢者の身体機能の情報を把握、共有し連携した支援</p> <p>(ア) 利用者の健康状態に応じて随時会議を開催し状況を共有する。</p> <p>(イ) 身体状況に応じた介護備品を準備し、安全安心な生活が送れるようにする。</p>	<p>(ア) 利用者の健康状態の把握に努め、1日2回の検温と健康観察を行い、看護師を中心に情報共有し、支援を行った。個々の状態に合わせ、屋内での体操や散歩など、機能維持の活動を実施した。</p> <p>(イ) 新型コロナ感染症対策として、介護備品の準備や防護服の着脱等の実技研修を実施した。</p> <p>3月には施設入所でクラスターが発生した際に、活かすことができた。</p>
<p>エ あんしんネット親愛事業による生活困窮者への支援</p> <p>(ア) 寄り添い型連携支援を実施する。</p> <p>(イ) 各種機関との連携・情報交換を行う。</p>	<p>(ア) 支援件数は、フードドライブによる食糧支援のみ1件であった。(現物支給なし)</p> <p>(イ) 近隣の地域包括支援センターからの相談による助言・指導や、食糧支援の対応などを実施した。</p>

(2)人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 外部研修への参加</p> <p>キャリアパス制度に則し、必要な業務教育の一環として職務に必要な研修を受講し職員のスキルを高める。</p>	<p>外部の動画配信型の研修については、事業所内で複数の職員で受講出来るように設定した。</p> <p>強度行動障害基礎研修には、4名が受講した。</p>

<p>イ 内部研修の実施</p> <p>(ア) グループ研修会を実施し、障がい特性に対応できる専門性を高める。</p> <p>(イ) 虐待防止研修を行い一人ひとりの意識の向上を図る。</p>	<p>(ア) 事業所内の人事育成の一環として、9月に障がい特性に対応するグループ研修会を実施した。</p> <p>(イ) 年1回の虐待防止研修を、経験年数に応じて2つのグループに分けて実施した。</p>
---	---

(3) 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>設備の老朽化にともない必要な修理、整備</p>	<p>老朽化に伴い、不具合が発生した設備の修理、整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 厨房機材メンテナンス契約 b 高度清浄加湿器 2台6年リース c 変圧器調査 d 変圧器内 PAS 高圧ケーブル等交換 e 作業棟カーテン取付 f 設計監理業務 屋上防水工事 外壁塗装工事

(4) 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 防災・防火訓練</p> <p>(ア) 避難訓練を実施し、うち1回は夜間想定 訓練の実施。</p> <p>(イ) 応急救護講習、水消火器訓練を行う。</p> <p>(ウ) 防災計画及び事業継続計画(BCP)の更新を行う。</p>	<p>(ア)(イ)</p> <p>コロナ禍のため、今年度は消防署より消防隊の派遣は1回の派遣にとどまっている。水消火器訓練は実施できたが、応急救護講習は未実施。避難訓練はコロナ禍と年度末のクラスターにより計画は4回だったが2回/年の実施になった。</p> <p>(ウ)計画の更新は行ったが、想定訓練は実施できなかった。</p>
<p>イ 安全運転管理</p> <p>安全運転管理者を中心に安全運転に努める。</p>	<p>法人内での事故報告を共有し、事故防止の周知を行った。自動車学校での運転講習に3名の送迎運転職員を派遣した。</p>

(5)その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 地域社会との共生 (ア)地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 (イ)実習生、ボランティアを積極的に受け入れ、障がい者の理解を深めてもらい、後進の育成に努める。	(ア)コロナ禍のため、自治会等の地域活動の参加は自粛した。 (イ)十分な感染対策を講じて受入れを再開した。実習生は通常時の半分の数での受入を行った。ボランティアは、園庭整備や清掃等の活動で少しずつ受入れを再開した。
イ 情報公開 ホームページへの情報掲載、事業報告等の開示、事業所見学者の受け入れを行う。	余暇支援・行事等の様子をホームページへ掲載した。

■ 川越親愛センター（令和3年度事業報告資料）

令和4年3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分6	20	10	30	10	5	15
区分5	3	4	7	4	2	6
区分4	1	1	2	2	2	4
区分3	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0
合計	24	15	39	16	9	25

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上～30歳未満	30歳以上～40歳未満	40歳以上～50歳未満	50歳以上～60歳未満	60歳以上	平均(歳)
		(入所)	男	0	1	0	7	
	女	0	0	2	7	4	2	50.8
	計	0	1	2	14	10	12	52.3
(通所)	男	1	3	5	3	1	3	41.2
	女	0	2	0	2	2	3	49.4
	計	1	5	5	5	3	6	43.5

(3)通院・入院状況（回）

区分	科目										
	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
入所	2	36	13	2	0	10	7	2	106	14	192
通所	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
入院	件	0	3	2	0	0	0	0	0	0	5
	日	0	25	62	0	0	0	0	0	0	87

オンライン受診7件含む

本人行かず、職員のみ通院は含まず

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	38.3	95.9
生活介護	60	56.8	94.8
短期入所	3	1.3	43.3
日中一時支援	なし	1.3	

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	31
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除・洗濯等)	15	合計	46

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	12	16	184